

SYMMETRIC



Durian 4 Filter

インストールマニュアル

SYMMETRIC

2011年11月11日版

目次

第 1 章	はじめに	3
第 2 章	ネットワーク設定	4
2-1	DNS の設定	4
2-2	アウトバウンド HTTPS 接続の許可	4
2-3	アウトバウンド SMTP/POP 接続の許可	4
第 3 章	JDK への追加ライブラリインストール	5
3-1	ライブラリー覧	5
3-2	JAI のインストール手順	6
3-3	JavaMail 及び JAF のインストール手順	7
3-4	JSSE のインストール手順	8
第 4 章	既存 Web アプリケーションへのインストール	9
4-1	概要	9
4-2	Durian パッケージの解凍	10
4-3	jar ファイルのインストール	10
4-4	durian ディレクトリのコピー	11
4-5	web.xml の更新	12
第 5 章	動作確認	14
5-1	管理ツール	14
5-2	コンテンツ変換	14

第1章 はじめに

本インストールマニュアルでは、既存アプリケーションへ Durian4 Filter を導入する手順を記載しています。

インストール作業は、以下の手順で構成されます。

1. ネットワーク構成を確認および設定します(第2章)。
2. JDK に対し、追加ライブラリをインストールします(第3章)。
3. 既存 Web アプリケーションへのファイル追加および設定更新を行います(第4章)。
4. Durian の動作を確認します(第5章)。

第2章 ネットワーク設定

2-1 DNS の設定

DNS は端末情報の自動更新機能をご利用の際に必要となります。

DNS による名前解決ができるようにサーバを設定します。nslookup コマンド、dig コマンドなどでホストの名前解決ができることを確認します。

2-2 アウトバウンド HTTPS 接続の許可

アウトバウンド HTTPS 接続は端末情報の自動更新機能をご利用の際に必要となります。

ルータ・ファイアウォールなどで HTTPS アウトバウンド接続が拒否されていないかどうかを確認します。HTTPS アウトバウンド接続の詳細は以下の通りです。

項目	値
ホスト名	ssl.symmetric.jp
IP アドレス	219.123.70.68
ポート	443

2-3 アウトバウンド SMTP/POP 接続の許可

Durian Filter Enterprise Edition でメール機能をご利用になる場合にのみ、必要となる設定です。

Durian をインストールするサーバから SMTP サーバおよび POP サーバに SMTP/POP 接続可能かどうかを確認します。必要であれば、ルータ・ファイアウォールなどの設定を変更します。

第3章 JDK への追加ライブラリインストール

3-1 ライブラリー一覧

Durian4 では、ご利用になるバージョンや機能によって外部ライブラリが必要となる場合がございます。必要に応じて JDK もしくは Java アプリケーションサーバの共有ライブラリへインストールします。

ライブラリ名称	説明
JAI (Java Advanced Imaging)	画像変換オプションをご利用になる場合に必要となります。
JavaMail	Durian4 Filter Enterprise Edition をご利用になる場合に必要となります。Java アプリケーションサーバにインストール済みの場合はインストール不要です。
JAF (JavaBeans Activation Framework)	同上
JSSE (Java Secure Socket Extension)	JDK 1.3 を使用する場合にのみ、必要となります。JDK 1.4 以上では JDK に標準でインストールされています。Java アプリケーションサーバにインストール済みの場合はインストール不要です。

3-2 JAI のインストール手順

以下に IBM WebSphere Application Server の JDK へインストールする手順を例として示します。

1. アプリケーションサーバが動作している場合は、停止します。
2. JAI 1.1.3 と JAI Image I/O Tools 1.1 を Sun のサイト
(<http://java.sun.com/javase/technologies/desktop/media/jai/>) よりダウンロードします。
3. JDK ホームディレクトリ(例: /opt/IBM/WebSphere/AppServer/java) へ移動します。
4. `./jai-1_1_3-lib-linux-i586-jdk.bin` を実行します。
5. ライセンス規約に同意する場合、`yes` を入力します。
6. `./jai_imageio-1_1-lib-linux-i586-jdk.bin` を実行します。
7. ライセンス規約に同意する場合、`yes` を入力します。

※ "This is not a proper JDK directory. "というエラーメッセージが出力されインストールできない場合は、JDK ディレクトリ内にディレクトリ `jre/lib/i386` を作成してからインストーラを再度実行します。

※ インストール手順の詳細は、JAI および JAI Image I/O Tools 同梱のドキュメントを参照してください。

※ JDK 6 以上をご利用の場合、JAI Image I/O Tools のインストール作業は不要です。

3-3 JavaMail 及び JAF のインストール手順

以下に Apache Tomcat 5.0 の共有ライブラリとしてインストールする手順を示します。

1. アプリケーションサーバが動作している場合は、停止します。
 2. JavaMail 1.4 を <http://java.sun.com/products/javamail/> よりダウンロードします。
 3. ダウンロードしたファイル `javamail-1_4.zip` を解凍します。
 4. 解凍したディレクトリ内のファイル `mail.jar` を共有ライブラリディレクトリ(例:
`/usr/local/tomcat/shared/lib`)へコピーします。
 5. JAF を <http://java.sun.com/products/javabeans/jaf/> よりダウンロードします。
 6. ダウンロードしたファイル `jaf-1_1-fr.zip` を解凍します。
 7. 解凍したディレクトリ内のファイル `activation.jar` を共有ライブラリディレクトリ(例:
`/usr/local/tomcat/shared/lib`)へコピーします。
- ※ アプリケーションサーバや JDK によっては、JavaMail や JAF が既にインストールされている場合があります。
- ※ インストール手順の詳細は、JavaMail および JAF 同梱のドキュメントを参照してください。

3-4 JSSE のインストール手順

以下に Apache Tomcat 5.0 の共有ライブラリとしてインストールする手順を示します。

1. アプリケーションサーバが動作している場合は、停止します。
2. JSSE を <http://java.sun.com/products/jsse/> よりダウンロードします。
3. ダウンロードしたファイル `jsse-1_0_3_04-g1.zip` を解凍します。
4. 解凍したディレクトリ内のファイル `jsse.jar`, `jcrt.jar`, `jnet.jar` を共有ライブラリディレクトリ(例: `/usr/local/java/lib/jre/ext`) へコピーします。
5. アプリケーションサーバや JDK によっては、既にインストールされている場合があります。

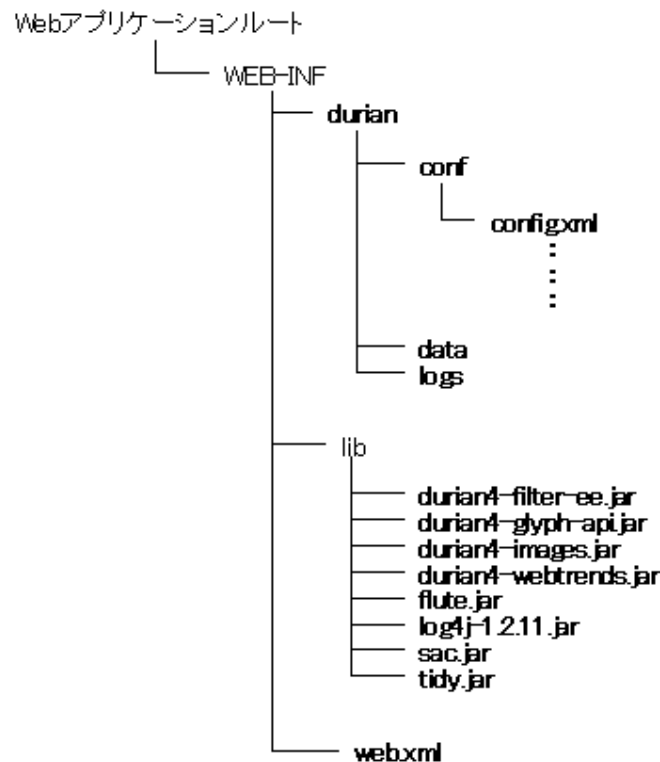
※ インストール手順の詳細は、JSSE 同梱のドキュメントを参照してください。

第4章 既存 Web アプリケーションへのインストール

4-1 概要

Durian4 Filter は Java EE で定義された Servlet Filter による実装です。インストール作業は、既存 Web アプリケーションに対する jar ファイル及び Durian 関連ファイルのコピーと web.xml への記述追加により完了します。

以下のディレクトリ構成図で、太字のファイル及びディレクトリが追加もしくは変更の対象となります。



※Durian をインストールした Web アプリケーションのみが変換の対象となります。複数の Web アプリケーションで Durian を使用する場合は、それぞれの Web アプリケーションに対して Durian のインストールが必要です。

※ColdFusion の場合、Web アプリケーションルートは [ColdFusion ルート]/wwwroot ディレクトリとなります。

4-2 Durian パッケージの解凍

Durian4 のパッケージ(durian-4.3.1-filter-ee.war 等)は、war 形式のアーカイブです。アーカイブの解凍を行うには、jar コマンドもしくは unzip コマンドを使用します。

◆ 解凍コマンド例:

```
mkdir temp
cd temp
jar -xvf ../durian-4.3.1-filter-ee.war
```

4-3 jar ファイルのインストール

Durian のパッケージに含まれる jar ファイルを Web アプリケーションの lib ディレクトリにコピーします。

◆ コピーコマンド例(Linux):

```
cp -p temp/WEB-INF/lib/* /home/user/webapps/app1/WEB-INF/lib/
```

4-4 durian ディレクトリのコピー

Durian の設定やログの保管先となる durian ディレクトリを WEB-INF ディレクトリ内にコピーします。

◆ コピーコマンド例 (Linux) :

```
cp -pR temp/WEB-INF/durian/ /home/user/webapps/app1/WEB-INF/
```

- ※ Durian は WEB-INF/durian ディレクトリ内のファイルに書き込みを行います。Java アプリケーションサーバから WEB-INF/durian ディレクトリ内への書き込みが可能となるようにファイルパーミッションを適切に設定してください。
- ※ durian ディレクトリを WEB-INF/durian 以外のディレクトリパスに変更することもできます。
http://durian.symmetric.jp/dev/doc/manage/change_directory.html

以下のフィルタ設定を web.xml に追加します。

◆ web.xml 設定例:

```
<filter>
  <filter-name>Durian Filter</filter-name>
  <filter-class>jp. co. symmetric. durian. DurianFilter</filter-class>
</filter>

<filter-mapping>
  <filter-name>Durian Filter</filter-name>
  <url-pattern>*</url-pattern>
</filter-mapping>

<servlet>
  <servlet-name>Durian Admin Servlet</servlet-name>
  <servlet-class>jp. co. symmetric. durian. admin. servlet. DurianAdminServlet</serv
let-class>
</servlet>

<servlet-mapping>
  <servlet-name>Durian Admin Servlet</servlet-name>
  <url-pattern>/durian/admin/*</url-pattern>
</servlet-mapping>
```

※ 既に他の filter を利用している場合は、Durian の filter-mapping が一番先頭になるように記述します。

ColdFusion の場合は、上記の設定に加え、HTML を除く全ての静的リソース(css、jpg、gif 等)に対する servlet-mapping タグの指定も必要となります。

◆ **web.xml 設定例 (ColdFusion のみ) :**

```
<servlet-mapping>
  <servlet-name>FileServlet</servlet-name>
  <url-pattern>*.gif</url-pattern>
</servlet-mapping>
<servlet-mapping>
  <servlet-name>FileServlet</servlet-name>
  <url-pattern>*.jpg</url-pattern>
</servlet-mapping>
<servlet-mapping>
  <servlet-name>FileServlet</servlet-name>
  <url-pattern>*.css</url-pattern>
</servlet-mapping>
```

なお、Durian4 Filter Enterprise Edition でメール機能をご利用になる場合は、以下設定も web.xml に追加します。

◆ **web.xml 設定例 (EnterpriseEdition のみ) :**

```
<listener>
  <listener-class>
    jp.co.symmetric.durian.mail.MailServletContextListener
  </listener-class>
</listener>
```

第5章 動作確認

5-1 管理ツール

管理ツールにアクセスすることにより、Durian4 やライブラリが正常にインストールされているかどうかを確認することができます。

◆ 管理ツールアクセス URL 例:

アプリケーションサーバー	管理ツール URL (内部 HTTP サーバー利用)
WebSphere Application Server	http://localhost:9080/app1/durian/admin/
WebLogic	http://localhost:7001/app1/durian/admin/
ColdFusion	http://localhost:8500/durian/admin/
Tomcat	http://localhost:8080/app1/durian/admin/
JBoss	http://localhost:8080/app1/durian/admin/

- ※ コンテキストパスを /app1 と想定した場合の URL です。
- ※ 初期状態でのログイン ID は durian、パスワードは durian です。
- ※ 管理ツールの詳細については以下 URL をご参照ください。
<http://durian.symmetric.jp/dev/documentation.html>

5-2 コンテンツ変換

既存 Web アプリケーションに PC ブラウザや携帯端末からアクセスします。

出荷時設定ではコンテンツに含まれるホワイトスペースが削除されますので、変換後のコンテンツソースを見れば Durian による変換が行われているのかを確認することができます。